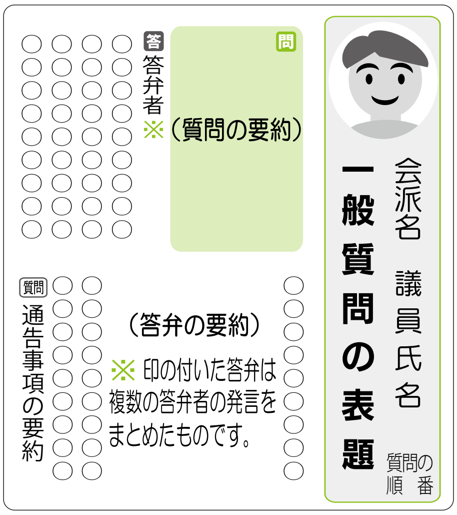
市政に関する一般質問

今定例会では、２５名の議員が一般質問を行いました。



会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で5月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

自由民主党　荻窪利充　1

若年世代呼び込みの重要性

問 幅広い問題に対応した施策として、子育て世帯親元近居、同居を目的とした住宅取得補助金制度は有効と考えるが、市の見解を伺う。

答 **総合政策部長**　子育て世代の親元近居、同居が進むことは、子育て支援や高齢者の見守りなど、多くの効果が期待できるものと認識している。

また、多くの子育て世代が本市に定住し、地域に根差した生活を送ることは、まちの活力やにぎわいの創出につながり、市の発展に大きく寄与するものと認識している。

このようなことから、住宅取得への補助金制度を含め、本市における効果的な施策について具体的に検討を進めていきたい。

質問 生活と生産年齢人口

やまぶき会　小高浩行　2

山田中に特別支援学級設置

問 山田小学校の特別支援学級を卒業すると初雁中学校特別支援学級に通うことになるが、山田中学校に特別支援学級を設置する可能性を問う。

答 **学校教育部長**　埼玉県では、特別支援学級の設置率を高めることを推奨していることから、本市としても、同様に、設置率を高める方向で考えている。その際には、児童生徒のニーズや実態、通学の利便性等を考慮するとともに、指導する教員や教室の確保等のさまざまな課題についても検討し、計画的に設置を進めている。山田中学校においても、これらのことを総合的に勘案し、設置の可能性について検討していく。

質問 山田地区の諸課題

質問 内部統制方針策定等

自由民主党　栗原瑞治　3

訪問診療の推進を！

問 高齢化に伴い、病院等への通院が困難な高齢者の増加が見込まれる中で、訪問診療等の在宅医療の基盤整備に対して、今後の市の考えは？

答 **保健医療部長**　在宅医療は、入院医療や外来医療、介護、福祉サービスと相互に補完しながら患者の日常生活を支える医療で、地域包括ケアシステムの不可欠の構成要素である。また、急速な高齢化の進展により増大する慢性期の医療ニーズに対する受け皿や、みとりを含む医療提供体制の基盤の一つとして期待されている。今後、国、県の動向を注視するとともに、医師会等の関係機関との連携を図りながら、在宅医療の推進に取り組んでいきたい。

質問 在宅医療の基盤整備

自由民主党　海沼秀幸　4

土砂無許可たい積について

問 池辺・増形地内で土砂のたい積が無許可で行われ市道が封鎖されている。近隣住宅の土砂災害の危険性が高まってきたが今後の対策をどうするのか。

答 **環境部長**　土砂の無許可たい積については、現場への立ち入りや廃棄物等監視員によるパトロール等の監視活動を強化し、行政指導を引き続き行っていく。また、埼玉県川越県土整備事務所および道路管理者と連携、調整を図り、行政処分を検討していく。土砂の撤去が進まない場合には、事業者に対し早急に搬出先を選択するよう強く指導するとともに、捜査機関等と情報を共有し、より一層厳しく指導していきたいと考えている。

質問 生活道路

質問 池辺増形土砂のたい積

自由民主党　吉敷賢一郎　5

便利な公共交通の実現へ

問 川越シャトルとデマンド交通を併用していくことで、公共交通がこれまでと比べ本当に便利になっていくのか、市長に伺う。

答 **市長**　川越シャトルとデマンド交通の2つを併用することで、市内全ての交通空白地域の解消が図れると考えているが、利便性においては、併用後もさまざまな工夫が必要になると考えている。

利用者の声を可能な範囲で事業に反映するとともに、平成29年3月に策定した川越市都市・地域総合交通戦略の基本目標である「市民が暮らしやすく、訪れる人を魅了する『川越のまち』の活動を支える交通の実現」を目指し、今後も取り組みを進めていく。

質問 公共交通と交通政策